



令和5年度

YURIKAGO 通信

《12月号》

R5.11.24 東京ゆりかご幼稚園



冬のマラソン

七国の里山林も色づき始め、動物たちも冬支度に入っているようです。子ども達は寒さなど気にせず、朝から園庭を駆け巡っています。今月より「冬の寒い日も元気に外で体を動かそう」という趣旨で行っているマラソンが始まり、毎朝、音楽が鳴ると、園庭の芝生、棚田の周り、小川の周り、てっぺん広場やアスレチックなど、様々な場所で学年ごとに難易度を楽しみながら走っています。みんなで楽しむマラソン...心も体も温かくなり、充実した1日がスタートします！



「多様な他者との関わり」が子どもの成長を支える・・・

今月も様々な活動や行事がありました。特に保護者の方にご参加いただいた秋祭りや、みなみ野駅・消防署への勤労感謝訪問、消防署員の方が来園した防災教室、ハーブ王子との野草探し、外部コーチを招いてのテニス体験教室など、公的機関の方、外部の専門の方と触れる機会が多くありました。また、園庭開放でいらっしゃる未就園児の親子、町探検で来園の小学生、職場体験の中学生、その他園見学の大学生や教育関係者など、日常的に様々な方が来園されます。子ども達はこうした環境に慣れているようで、進んで挨拶をしたり、園の紹介をしたり、遊びを見せたり、生きものを紹介したり、質問をしたりと、自発的に関わろうとする姿が見られます。このように、多様な他者と接することを通して、子ども達は興味の幅を広げ、多くの大人に見守られていることを実感し、「社会」を身近に感じることができます。

12月にはユネスコ関係者など国外のお客さんも見学にいらっしやいます。ユネスコスクールの幼稚園としても、「地球市民としての視野と価値観」を体感し、育んでほしいと願っております。

“秋祭り”

昨年度の秋祭りは学年毎の開催でしたが、今年度は午前午後の2回に分けて行いました。スタンプラリーなど園庭の遊びの他に、久しぶりにお母様方のチアダンス、鉄腕クラブのお父様方の「Yurikago 戦隊里山レンジャーショー」が復活し、更にホールではクラシックコンサートが行われました。未就園児さんから卒園生まで、子ども達みんなが楽しい時間を過ごすことができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



防災教室

八王子消防署みなみ野出張所の署員さんにお越しいただき、防災教室をおこないました。全学年が園庭に避難する様子をご覧いただいた後、園児にお話をいただきました。その他、職員の消火訓練や、はしごの披露、消防車の見学など、子ども達の様々なリクエストにも応えていただきました。そして、日頃の感謝の気持ちを込め、年長さんからペンダントをお渡ししました。



いもほり会 & やきいも会 小比企町の YurikagoFarm でのいもほり会。今年度は保護者ボランティアの方に

御協力いただき、700 株のサツマイモを栽培しました。ご協力をありがとうございました。土の中から次から次に顔を出す大きなサツマイモに子ども達も大喜び！そして、園庭の森の広場にあるファイヤーサークルで行われたやきいも会。落ち葉や小枝を集めて燃やし、おいしくいただきました！



うさぎ組 いもほり会 うさぎ組さんは、園庭の畑でいもほりをしました！



年中・長テニス体験教室 (株)ダンロップスポーツマーケティングのご協力のもと、「テニス体験教室」を行いました。ダンロップスポーツ契約アドバイザーのあきまさコーチに楽しく教えていただき、テニスの魅力を知ることが出来ました！これからも様々な運動に触れ、体を動かす事を楽しんでほしいと思います。



年中・長 勤労感謝訪問 年長さんは八王子消防署へ、年中さんはみなみ野駅を訪問し、お仕事の内容について教えていただき、日頃の感謝を伝えてきました。



年長 消防署訪問 年中 みなみ野駅訪問



ハーブ王子と野草探索（年長 & 保護者）

年長さんは、野草研究家の「ハーブ王子」こと山下智道さんと一緒に園庭を巡り、野草探しをしました。コウゾリナ、カラスザンショウ、スカシタゴボウ、ヒヨドリバナ、ヤクシソウ、オトコエシ、ノコンギク、フユノハナワラビ、ヒメジョオン、キンミズヒキ、スベリヒユなど、沢山の野草を見つけることができました。そして今回は、タンポポ、オオバコ、クレソン、イヌタデを使用して野草スープを作り、みんなでいただきました。とても美味しかったようで、「おかわり！」の声が響いていました！

さて、翌日には保護者の方と野草探索があり、ここでも野草を探しながら、植物の専門的な話から日常に使える薬草の話まで、幅広くお話をいただきました。そして、タンポポ、ハルジオン、オオバコ、クレソン、ヤクシソウなどを使ってチヂミを作っていました！

NHKの朝ドラ「らんまん」の影響もあり野草ブームの昨今ですが、実は主人公の牧野富太郎博士の授業を、本園の初代副園長である故内野郁子（園長の母）は聴講に通っていたほど植物が大好きでした。数年前、高知県の牧野植物園を訪れた際は、故人が幼稚園の園庭に植えていた植物の種類や配列がそっくりだったので驚いたものです。思えば園長が幼少の頃、旅行に出かけても車を止めては森に入り、野草探しに付き合わされたものでした。そんな思い出話をハーブ王子としながら、年長さんや保護者の方との探索を楽しませていただきました。



年長 おにぎりパーティー

4月から取り組んできたお米作り。いよいよ収穫祭です！



ピンで精米

野菜を収穫（ワケギ、ブロッコリー、ミズナ、大根、サツマイモ）

鰹節を削り



お米をといで

釜戸で炊いて

おにぎりを握っていただきます！

7ヶ月間頑張りました！

年少 栽培&クッキング

年少さんは、クラス前の畑で育てたラディッシュを収穫してピザを作ったり、棚田の麦畑で土づくりをして小麦の種を蒔いたり、栽培とクッキングを楽しんでいます！



海外ユネスコ関係者の来園

12月19日に「ESD-Net2030グローバル会合」という会合が国連大学で開催されますが、その後、国内の施設見学として海外のユネスコ関係者、ユネスコスクールの先生方、約50名が来園されます。当日は、日常の保育風景をご覧いただき、「ESD＝里山教育」の一つとして稲の脱穀などを体験していただく予定です。また、保護者の方数名にも通訳ボランティアのご協力をお願いする予定です。コロナ前は国内外の様々な方が見学にいらっしゃっていましたが、客観的にご意見をいただくことで、幼児教育の質の向上に活かしていくことを大切にしています。保護者の皆様には引き続きご理解をいただきますようお願い申し上げます。



国の「誰でも通園制度」と、東京都の「多様な他者との関わりの機会の創出事業」について

現在、国が検討している「誰でも通園制度」は、幼稚園や保育所などに入園する前のお子さんが通うことができる制度ですが、令和5、6年度は施行期間のため、利用時間や給付制度についてまだ定まっていない状況です。

一方、東京都が先行し、国に似た制度「多様な他者との関わりの機会の創出事業」を制度化しました。八王子市でも、令和6年度よりこの制度を取り入れ、希望する施設で実施されることとなります。本園でも、八王子市と具体的な運用方法を検討しておりますが、現在ご利用いただいている「うさぎ組」の満3歳未満児（3歳の誕生日を迎える前の学齢2歳児）について、これまでは月5000円の減免（八王子市在住の方）のみであったのが、本事業補助金の活用により、保護者負担が軽減され、利用しやすくなるものと考えております。制度の詳細が決まりましたらお知らせいたします。